

年少者が楽しみながら学べる日本語学習ウェブサイト －日本語学習と異文化理解の支援を目指して－

石井容子（国際交流基金関西国際センター）

伊藤秀明（国際交流基金関西国際センター）

海外の日本語教育の現場からは生のもの、異文化理解につながるもの、初級レベルのものが教材としてほしいという声がよく聞かれる。また、海外の日本語学習者からも留学や仕事のためではなく、もっと楽しみながら日本語を学習したいという声がある。

これらの声を踏まえ、発表者らは、学習者が興味・関心を持つ題材を通して日本や日本語に触れ、より幅広い日本や日本語を知り、それを学習の継続につなげることをねらいとして、日本語学習サイト「ひろがる もっといろんな日本と日本語」を開発した。サイトは「アウトドア」「武道」「カフェ・お茶」等の12のトピックで構成され、それらに関する日本の情報を読む、音声を聞く、動画を視聴するといったことができる。また、基本的に入門から初級レベルの日本語でもわかる、使えるという実感が得られるよう、ルビの有無が選択できる、難易度の高い語彙に訳が付く、選択式のクイズで記事の内容理解を確認できるなどの学習サポートもつけている。

本サイトは日本語学習者に向けたものであるが、日本語母語話者の小学生に閲覧してもらったところ、「面白いので、どんどん読みたい」「動画が面白いので全部見たい」「漢字をつけたり消したりできて挑戦できる」などの感想があり、記事に付属するクイズを全ての記事で行おうとする様子が観察された。年少者が興味を持って読める易しい日本語で書かれた読み物や面白く閲覧できる動画が用意された本サイトは、学校教育や教科教育に直接関わるものではないが、年少者の日本語教育にとっても役立つものと思われる。また、オーセンティックな日本文化社会を感じられる点で海外における継承語教育などにおける活用が考えられるほか、それぞれの学習者が自身の持つ文化について考えるきっかけとなることも期待できる。